

**令和3年度 指定管理者年度総合評価表**  
(令和3年4月～令和4年3月実施分)

作成日	令和4年6月16日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	八戸地域職業訓練センター青山荘	
所在地	八戸市類家二丁目7番40号	
施設概要	<p>【設置目的】 八戸市及び周辺地域をサービスエリアとして、働く人はもとより、企業やグループ等地域の人々に幅広く活用していただき、研修、講習、発表会等生涯にわたって職業能力の開発・向上を図ることを目的とした施設</p> <p>【施設概要】 (1)建物構造：鉄筋コンクリート造、地上2階建 (2)敷地面積：3,000.03㎡ (3)延床面積：1,652.4㎡(1階：826.2㎡、2階826.2㎡)</p>	
指定管理者	名称	職業訓練法人 八戸職業能力開発協会
	代表者	会長 佐々木 茂喜
	所在地	八戸市類家二丁目7番30号
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練センターの使用の許可に関する業務</li> <li>・ 訓練センターの施設、設備等の維持管理に関する業務</li> <li>・ 使用料の徴収業務</li> </ul>	
市所管課 (問合せ先)	商工労働観光部 産業労政課 雇用支援対策グループ	
	電話	0178-43-9038 (直通)
	E-mail	<a href="mailto:sangyo@city.hachinohe.aomori.jp">sangyo@city.hachinohe.aomori.jp</a>

■指定管理者による自己評価

評価	<p>企業や地域住民等の研修及び講習会場並びに離職者等の職業訓練の場として、また、生涯にわたる職業能力の開発向上を図るための施設として運営を行った。</p> <p>公的機関との連携により求職者訓練を実施したほか、施設の提供も行い利用者の増加に努めた。また、新型コロナウイルス感染防止対策として、手指消毒用アルコールの設置、定期的な換気・消毒等を実施した。</p> <p>地域住民や企業等には、ホームページや市広報への掲載にて最新情報を随時発信し、幅広く周知したほか、施設の維持管理については、利用者が安全に利用できるように適切に対応した。</p>
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の資質向上を図り、利用者の満足度を向上させる。</li> <li>・ 引き続きホームページ、市広報等を活用した情報発信や、ハローワーク及び市の窓口へのチラシ設置等を実施し広報活動を強化するほか、アンケート調査による利用者ニーズの把握に努め、パソコン講座等の利用者を増加させる。</li> </ul>

■市(所管課)の総合評価

評価	<p>協定書、業務基準書及び事業計画書に基づいて適切な管理運営が行われていた。</p> <p>センターの利用状況については、パソコン講座や離職者、求職者向けの就職支援訓練等で前年度並みの利用があった。また、パソコン講座については、受講者へのアンケートを参考に受講者のニーズに沿った満足度の高い講座を実施できていた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍以前と比較すると利用者は減少したが、感染防止対策を講じながら利用者増加に努め、利用者サービスの更なる向上を期待する。</p>
指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的な講座実施及び周知の強化により利用者増加に努めること。</li> <li>・ 収支が黒字になるよう、経費の削減等に努めること。</li> </ul>

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

## ■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	本来休館日である日曜日に、技能検定試験（国家試験）の会場として提供する等、サービス向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	避難訓練を年2回実施する等、事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
使用料の徴収事務 ※徴収委託をしている場合	○	使用料等の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況																																																					
指標	評価	評価に対する説明																																																			
訓練センター利用状況	○	<p>利用者数は前年度並みであった。また、生涯にわたって職業能力の開発・向上を図ることを目的とした施設として利用され、指定管理者の管理は適切であった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>18,535人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>18,317人</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>△218人 (98.8%)</td> </tr> </tbody> </table>		年度	利用者数	令和2年度	18,535人	令和3年度	18,317人	前年度比	△218人 (98.8%)																																										
年度	利用者数																																																				
令和2年度	18,535人																																																				
令和3年度	18,317人																																																				
前年度比	△218人 (98.8%)																																																				
講座等実施状況	○	<p>前年度と同様のコースを実施し、利用者は前年度並みであった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コース名</th> <th colspan="2">利用者数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Word初心者</td> <td>31人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>Excel初心者</td> <td>39人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>Word応用</td> <td>29人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>Excel応用</td> <td>34人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>Word3級検定</td> <td>7人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>Excel3級検定</td> <td>11人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>Word2級検定</td> <td>0人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>Excel2級検定</td> <td>0人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>PowerPoint</td> <td>24人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>商業簿記3級受験コース</td> <td>5人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>電子会計実務検定3級受験</td> <td>3人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>電子会計実務検定コース</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>初心者のためのホームページ作成コース</td> <td>9人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>192人</td> <td>191人</td> </tr> <tr> <td>(前年度比)</td> <td>(141.2%)</td> <td>(99.5%)</td> </tr> </tbody> </table>		コース名	利用者数		令和2年度	令和3年度	Word初心者	31人	32人	Excel初心者	39人	38人	Word応用	29人	20人	Excel応用	34人	24人	Word3級検定	7人	11人	Excel3級検定	11人	12人	Word2級検定	0人	5人	Excel2級検定	0人	8人	PowerPoint	24人	25人	商業簿記3級受験コース	5人	0人	電子会計実務検定3級受験	3人	0人	電子会計実務検定コース	0人	2人	初心者のためのホームページ作成コース	9人	14人	合計	192人	191人	(前年度比)	(141.2%)	(99.5%)
コース名	利用者数																																																				
	令和2年度	令和3年度																																																			
Word初心者	31人	32人																																																			
Excel初心者	39人	38人																																																			
Word応用	29人	20人																																																			
Excel応用	34人	24人																																																			
Word3級検定	7人	11人																																																			
Excel3級検定	11人	12人																																																			
Word2級検定	0人	5人																																																			
Excel2級検定	0人	8人																																																			
PowerPoint	24人	25人																																																			
商業簿記3級受験コース	5人	0人																																																			
電子会計実務検定3級受験	3人	0人																																																			
電子会計実務検定コース	0人	2人																																																			
初心者のためのホームページ作成コース	9人	14人																																																			
合計	192人	191人																																																			
(前年度比)	(141.2%)	(99.5%)																																																			
自主事業	○	<p>県や国からの受託による求職者支援訓練、離職者等再就職訓練事業及び在職者訓練を実施し、前年度並みの利用があった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">コース名</th> <th colspan="2">利用者数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">求職者支援訓練</td> <td>経理OA事務科</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>OA事務科</td> <td>11人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>11人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">離職者等再就職訓練事業</td> <td>大型車両実務科</td> <td>5人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>建設実務科</td> <td>14人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>電気工事士養成科</td> <td>6人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>25人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">在職者訓練</td> <td>IT活用力セミナー</td> <td>129人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>生産性向上支援訓練</td> <td>—</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>129人</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>165人</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>(前年度比)</td> <td></td> <td>(203.7%)</td> <td>(95.2%)</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	コース名	利用者数		令和2年度	令和3年度	求職者支援訓練	経理OA事務科	—	—	OA事務科	11人	5人	小計	11人	5人	離職者等再就職訓練事業	大型車両実務科	5人	—	建設実務科	14人	10人	電気工事士養成科	6人	9人	小計	25人	19人	在職者訓練	IT活用力セミナー	129人	—	生産性向上支援訓練	—	133人	小計	129人	133人	合計		165人	157人	(前年度比)		(203.7%)	(95.2%)			
事業名	コース名	利用者数																																																			
		令和2年度	令和3年度																																																		
求職者支援訓練	経理OA事務科	—	—																																																		
	OA事務科	11人	5人																																																		
	小計	11人	5人																																																		
離職者等再就職訓練事業	大型車両実務科	5人	—																																																		
	建設実務科	14人	10人																																																		
	電気工事士養成科	6人	9人																																																		
	小計	25人	19人																																																		
在職者訓練	IT活用力セミナー	129人	—																																																		
	生産性向上支援訓練	—	133人																																																		
	小計	129人	133人																																																		
合計		165人	157人																																																		
(前年度比)		(203.7%)	(95.2%)																																																		
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	降雪日は、施設周辺の歩道等を除雪していた。																																																			

3 収支状況						
指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	△	経費の縮減等により黒字になるよう努めたが、令和3年度の収支は136,398円の赤字となった。				
		(単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入①	指定管理料	25,600,000	25,600,000	25,819,000
			雑収入	0	729	856
			修繕料繰越金	0	0	0
			計	25,600,000	25,600,729	25,819,856
		支出②	人件費	14,180,000	13,139,625	13,130,593
			維持管理経費	10,110,000	10,499,202	10,768,457
			事業費・一般事務費	310,000	868,600	838,458
租税	1,000,000		1,229,700	1,128,100		
計	25,600,000		25,737,127	25,865,608		
	次年度修繕料繰越金③	0	0	0		
	収入-支出(①-②-③)	0	△136,398	△45,752		
自主事業の収支状況	○	計画よりも多数講座を実施し、多くの受講生を確保できたことにより、収支計画を達成し、黒字であった。				
			収支計画	収支実績	備考	
		収入	4,800,000	9,170,810	委託料、テキスト代等	
		支出	4,800,000	8,399,117	受託訓練実施費用	
		収入-支出	0	771,693		

4 運営に係る体制整備等の状況				
指標	評価	評価に対する説明		
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。		
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。		
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 事務室前に意見箱を設置していた。		
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等はなかった。		
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)		
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)		
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。		
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。		
障がい者への配慮	○	職員全員が丁寧で分かりやすい説明を心がけ、必要に応じて筆談や読み上げ等に対応できるよう備えていた。		

## ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	建物・備品・設備に関してほぼ毎日、目視による点検を実施し、把握に努めていた。			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	月報、事業報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	8回	4月13日	担当	施設状況の確認
		5月26日	担当	施設状況の確認
		6月4日	担当	施設状況の確認
		7月5日	担当	エアコン修繕の現場確認
		10月15日	担当	工事、修繕要望の聴取
		11月10日	担当	施設状況の確認、工事、修繕要望の聴取
		1月11日	担当	正門・フェンス交換修繕の現場確認、施設状況の確認
		3月23日	担当	正門・フェンス交換修繕の現場確認、施設状況の確認
	実施結果			
設備や備品等が適切に管理されていることを確認した。 事業の実施状況も適切であった。				

令和3年度 指定管理者年度総合評価表  
(令和3年4月～令和4年3月実施分)

作成日	令和4年6月16日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市職業訓練施設	
所在地	八戸市類家二丁目7番30号	
施設概要	【設置目的】 技能労働者の職業訓練を充実・強化することにより、職業能力の開発を図り、技能労働者の地位向上に資するための施設 【施設概要】 (1)建物構造：鉄筋コンクリート造、地上2階建 (2)敷地面積：1,135.2㎡ (3)延床面積：680.4㎡(1階：491.0㎡、2階189.4㎡)	
指定管理者	名称	職業訓練法人 八戸職業能力開発協会
	代表者	会長 佐々木 茂喜
	所在地	八戸市類家二丁目7番30号
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
指定管理者の業務	・訓練施設の利用に関する業務 ・施設、設備等の維持管理に関する業務	
市所管課 (問合せ先)	商工労働観光部 産業労政課 雇用支援対策グループ	
	電話	0178-43-9038 (直通)
	E-mail	sangyo@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<p>優れた技能労働者の養成を目指し、職業訓練を通して職業能力の向上を図るための施設として、普通課程と短期課程を開設した。普通課程においては、塑性加工科・木造建築科・建築設計科を開設し、短期課程においては、国家試験技能検定受験者に応じた4つのコースを開設した。</p> <p>施設運営の広報活動として、ホームページから情報を随時発信し、地域企業や住民の理解を深めたほか、訓練生の募集については会員事業所への周知及び会合等での積極的な呼びかけに努めた。</p> <p>また、施設の維持管理については、建物や設備について毎日目視点検を行い、利用者が安全に利用できるよう適切に対応した。</p>
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・訓練生の確保のため、会員事業所への周知活動や会合での呼びかけを強化する。</li><li>・短期課程の訓練生の技術向上を図り、国家試験合格率を上昇させる。</li></ul>

■市(所管課)の総合評価

評価	<p>建物や設備については、法定点検を業者に委託し実施したほか、職員が毎日目視による点検を実施しており、訓練生が安心して利用できる環境の整備に努めていた。</p> <p>普通課程訓練科においては、会員事業所への周知や会合での呼びかけ等により、3科7名の新入生を確保した。短期課程訓練科においては、国家試験技能検定受験者に応じた4つのコースを設定し、46名の生徒を確保した。</p>
指摘事項	引き続き、訓練生が安心して利用できる環境の整備に努めること。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

## ■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	震災復興訓練会場として、平成 24 年度から訓練施設として提供する等、サービス向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	○	認定職業訓練事務職員研修に参加する等、従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	生徒と職員で避難訓練を実施する等、事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外。
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	—	該当なし。
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	—	該当なし。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・清掃業務は、職員及び生徒が実施していた。 ・浄化槽維持管理業務については業者に委託していた。

2 運営状況																																																			
指標	評価	評価に対する説明																																																	
職業訓練実施状況	—	<p>【普通課程】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">受講者数</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塑性加工科</td> <td>1年</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木造建築科</td> <td>1年</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">建築設計科</td> <td>1年</td> <td>3名</td> <td>—名</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>—名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>10名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【短期課程】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">受講者数</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">建築塗装コース学科</td> <td>13名 (76.9%)</td> <td>—名 (試験中止)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築塗装コース実技</td> <td>21名 (76.2%)</td> <td>—名 (試験中止)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築大工コース</td> <td>4名 (100%)</td> <td>3名 (100%)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">建築板金コース</td> <td>8名 (75.0%)</td> <td>—名 (—%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※( )内は国家試験合格率  ※地域住民や特定の利用者を対象とした施設であることから評価の対象外。</p>	受講者数		令和3年度	令和2年度	塑性加工科	1年	2名	2名	2年	1名	2名	木造建築科	1年	2名	2名	2年	2名	1名	建築設計科	1年	3名	—名	2年	—名	4名	合計		10名	11名	受講者数		令和3年度	令和2年度	建築塗装コース学科		13名 (76.9%)	—名 (試験中止)	建築塗装コース実技		21名 (76.2%)	—名 (試験中止)	建築大工コース		4名 (100%)	3名 (100%)	建築板金コース		8名 (75.0%)	—名 (—%)
受講者数		令和3年度	令和2年度																																																
塑性加工科	1年	2名	2名																																																
	2年	1名	2名																																																
木造建築科	1年	2名	2名																																																
	2年	2名	1名																																																
建築設計科	1年	3名	—名																																																
	2年	—名	4名																																																
合計		10名	11名																																																
受講者数		令和3年度	令和2年度																																																
建築塗装コース学科		13名 (76.9%)	—名 (試験中止)																																																
建築塗装コース実技		21名 (76.2%)	—名 (試験中止)																																																
建築大工コース		4名 (100%)	3名 (100%)																																																
建築板金コース		8名 (75.0%)	—名 (—%)																																																
その他利用状況	◎	<p>【国家試験技能検定等会場】  建築大工検定会場  【震災復興訓練会場】  24年度から引き続き震災復興訓練会場として使用。</p>																																																	
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	会員の拡大と組織体制の強化を図り、訓練生の確保に努めた。																																																	

3 収支状況		
指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、八戸地域職業訓練センターに含み積算しているため、当該施設分については、指定管理料はなし。

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	職業訓練満足度については、生徒数が少ないことから、直に意見を聞くことで、生徒の声を活かす取り組みをしていた。管理・運営内容については、随時、指定管理団体の役員会に諮っているほか、会員事業所にも状況を報告し、理解を得ていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	職員全員が丁寧で分かりやすい説明を心がけ、必要に応じて筆談や読み上げ等に対応できるよう備えていた。

#### ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物及び設備に関しては、毎日目視での点検を実施していた。</li> <li>・浄化槽は、業者点検時に立会い、問題点の把握に努めていた。</li> <li>・会員事業所への周知や会合での呼びかけ等、訓練生の確保に努めていた。</li> </ul>

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	月報、事業報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	5回	4月13日	担当	施設状況の確認
		5月26日	担当	施設状況の確認
		6月4日	担当	施設状況の確認
		10月15日	担当	工事、修繕要望の聴取
		11月10日	担当	施設状況の確認、工事、修繕要望の聴取
	実施結果			
適正な管理運営が行われていた。				